

 おのまち

# 議会だより

163号

令和2年  
8月12日発行



## 定例会6月会議

- 4 常任委員会審査結果
- 7 町政を問う!5人が一般質問
- 13 追跡!あの一般質問を検証
- 14 議会活動トピックス

NHK連続テレビ小説「エール」巡回展

# 定例会6月会議

6月10日～15日



▲座席の間隔を空けて本会議を開催

令和2年小野町議会定例会6月会議は、6月10日から15日まで6日間の日程で開かれました。

会議では、令和2年度一般会計補正予算、条例の制定及び一部改正など21件の町長提出議案と、議員提出議案3件が提出され、議案をすべて原案のとおり可決したほか、予算の繰越明許費繰越の報告がありました。

また、5名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをいただきました。

## 小・中学校のタブレットPCを前倒して整備

一般会計の歳入歳出それぞれ6404万7千円増額し、総額68億1112万3千円とするものです。

### 【主な補正内容】

#### ◆歳入

項目	補正額
新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金(増額)	1630万円
公立学校情報機器整備費補助金	2097万円
市町村フッ化物洗口事業費県補助金	18万円
不動産売払収入(荒町分譲地)	1685万円

#### ◆歳出

※1万円未満切り捨て

項目	補正額
高齢運転者自動車急発進防止装置 設置支援事業補助金(増額)	166万円
一般廃棄物処理基本計画策定費用	57万円
タブレットPC等購入(小学校分)	4317万円
タブレットPC等購入(中学校分)	1863万円

## 条例の制定・一部改正

条例1件を制定、7件が一部改正されました。主な内容は次のとおりです。

### ◆小野町中小企業及び小規模企業振興基本条例を制定

地域振興に重要な役割を担う中小企業及び小規模企業の持続的な発展のため、基本理念や施策の基本となることを定めることにより、中小企業等の施策を総合的に推進することを目的に制定したものです。

### ◆町長等の給与及び旅費に関する条例を一部改正

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う町民生活及び地域経済への影響を鑑み、令和2年6月支給の期末手当を町長が50%、副町長と教育長が20%減額するものです。

### ◆小野町税条例を一部改正

地方税法等の一部改正により所要の改正を行うものです。

- ① 町民税において婚姻歴や性別に関わらず寡婦控除を適用するとともに寡婦控除の内容等の見直し
- ② 町民税において肉用牛の売却による事業所得の特例期間を令和6年度まで延長
- ③ 町たばこ税において軽量の葉巻たばこの本数課税方式への見直し
- ④ 浸水被害軽減地区の指定を受けた土地について、指定された日から3年度にわたり減額する特例措置
- ⑤ 法人町民税の課税標準となる法人税割の調整規定を新設

## ◆小野町国民健康保険税条例を一部改正

国民健康保険税の賦課限度額を引き上げるほか、軽減対象世帯の範囲拡大等の改正を行うものです。

## ◆公益的法人等への職員の派遣等に関する条例を一部改正

職員を派遣することができるとして、公私連携幼保連携型認定こども園の整備・運営事業者である社会福祉法人啓誠福祉会を追加する改正を行うものです。

※改正された内容の詳細につきましては、小野町議会ホームページに8月下旬掲載予定の会議録をご覧ください。

## ◆連携協約の変更協議

## ◆連携中枢都市圏形成に係る連携協約を一部変更

平成31年に郡山市と小野町とで締結した連携協約について、近年、気候変動に伴う災害が増加していることから、災害発生時の相互支援等を明記する変更を行うものです。

## ◆町有財産の貸付

## ◆認定こども園用地を整備・運営事業者へ無償貸付

所在地：小野町大字谷津作字谷津98番1  
貸付先：社会福祉法人啓誠福祉会  
貸付面積：12222.09平方メートル  
貸付期間：契約締結の日から  
令和14年3月31日まで

## 人事案件

任期満了に伴う農業委員10名の任命について、議会の同意を求められ、全員賛成で同意しました。



## 報告事項

予算の繰越明許費繰越について、町長から報告がありました。

○令和元年度小野町一般会計予算繰越明許費繰越の報告について

## 議員提出議案

3件の議員提出議案を可決しました。

## ◆議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症対策に伴う地域経済への影響及び町の財政状況を鑑み、令和2年6月支給の期末手当を20%減額するものです。

議案提出者：宗像 芳男 議員

## ◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて提案したものです。

議案提出者：渡邊 直忠 議員

## ◆意見書の提出

「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援に必要な予算確保を求めるため、意見書を復興大臣等に提出することについて提案したものです。

○「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

議案提出者：先崎 勝馬 議員

意見書提出先：復興大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

# ここが聞きたい 質疑

## 常任委員会審査

### 予算決算常任委員会

#### 総務課

**問** 財政調整基金の取り崩しによる町財政への影響と取り崩し後の対応は。

**答** 今回取り崩すと約7億円の残額となる。一定程度の残高を確保したいので財源確保に努めるとともに、状況に応じて弾力的に運用したい。

#### 町民生活課

**問** 一般廃棄物処理基本計画策定委員会の委員構成は。

**答** 学識経験者と町民代表、町の関係課長の6名で構成する。町で作った計画に意見をいただく形を考えている。

**問** 一般廃棄物処理基本計画の期間は。

**答** 10年や15年を期間とした計画設定もあるが、既存計画や田村市、

国や県などの計画との整合を図りながら設定したい。

#### 地域整備課

**問** 荒町分譲地の売り払い単価はいくらか。

**答** 売り払い予定の3区画平均は、1平方メートル当たり1万6000円から1万6800円程度である。不動産鑑定結果により単価設定している。

**問** 荒町分譲地にはいつ頃家屋等が建つ予定なのか。

**答** 契約の条件として、3年以内に建物を建てることになっており、今回購入された方の中には、早期に建設する予定の方もいる。

#### 教育課

**問** 小中学校でのタブレット等の運用はいつからの予定としているか。

**答** 当初は本年度から令和5年度までに順次導入する予定としており、本年度は1クラス分を導入し、活用方法を検討する予定であったが、国の整備計画前倒しにより一括購入する。先生方の研修も予定しているが、納入時期は未定である。



▲家屋の建設が始まった荒町分譲地



**問** ギガスクールサポーターの人材はどのように考えているのか。

**答** 国から示されているものとして、ICT関連の技術者や経験者などを想定している。地元での採用を希望しているが、条件に合う人材を確保できるかが課題となる。

### 総務文教常任委員会

#### 総務課

**問** 町長等の期末手当の減額はどのように判断したのか。

**答** 町長、副町長及び教育長が協議を行い、最終的には町長が判断した。

#### 企画政策課

**問** 今回の協定の相手となる市町村の中にはこれまでも災害に関する協定を結んでいる自治体もあるが、重なる協定となるのか。

**答** 既存の協定と相対する自治体に重なるものはあるが、今回の協定内容が異なるものとなっている。また、災害の場合の支援を考えると現状よりもさらに遠い圏域との協定も必要になると考えられる。

#### 税務課

**問** 電子たばこ等の課税の内容は。

**答** 電子たばこは税率が改正されており、今年と来年は1箱20円ずつ上がる。



#### 町民生活課

**問** 国民健康保険に加入している世帯数はどの程度あるのか。

**答** 医療分・後期高齢者支援金分が1396世帯、介護分が672世帯となっている。

### 厚生産業常任委員会

#### 子育て支援課

**問** 認定こども園敷地を有料で貸し付けた場合の金額は。

**答** 町が借地として借り受ける近隣の土地の賃借料で換算した場合、年間300万円程度となる。

**問** 認定こども園敷地の貸付期間が令和14年3月31日までとなっているが、期間設定の理由は。

**答** 今後締結する公私連携幼児保健携型認定こども園設置及び運営に関する協定の有効期間の満了日となっていることから、設定したものである。



### 産業振興課

**問** 中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定にあたり、商工会へ意見聴取をしたとのことだが、未加入の事業所もある。組織に聞けば解決ということにはならないか。

**答** 条例は理念を定めたもの。詳細は今後振興計画や実施計画に盛り込み、具体的に事業を行っていくこととなる。広く意見を聞きながら実施に移していく予定である。

**問** 中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定により、町内事業者の受注機会は増えるのか。

**答** 条例の制定により、受注機会は増えるものと思われる。ただし、予算の適正な執行のため、公平な競争は必要となる。

# 5月第2回会議開催

5月28日に令和2年小野町議会5月第2回会議を開催し、次の議案を可決しました。

## ◆補正予算

令和2年度小野町一般会計予算において、新型コロナウイルス感染症対策に係る各種事業の費用1億407万6千円を増額するものです。また、水道事業会計においても新型コロナウイルス感染症対策に係る営業用の水道使用料について減免する費用を計上するものです。

## 【主な補正内容】

### 一般会計

※1万円未満切り捨て

#### ◆歳入

項目	補正額
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	6648万円
学校臨時休業対策費補助金	20万円
福島県避難所の新型コロナウイルス感染症対策強化事業補助金	100万円

#### ◆歳出

項目	補正額
幼児施設感染症対策経費(非接触式体温計、マスク等)	102万円
感染症予防事業(赤外線サーモグラフィカメラ等)	226万円
上水道費(水道使用料金減免に伴う繰出金)	300万円
帰省自粛学生ふるさとの農産物が応援します事業	200万円
事業継続緊急支援給付金	4020万円
新型コロナウイルス対策小野町商工会支援事業補助金	200万円
小野町応援商品券支給事業	4934万円
災害対策事業(段ボールパーティション、マスク等)	201万円
小中学校等感染症対策経費(自動手指消毒器、パルスオキシメーター等)	222万円

### 水道事業会計

#### ◆収益的収入

項目	補正額
水道使用料(減免分)	▲300万円
一般会計繰出金(水道使用料補填分)	300万円

## 審議した議案と各議員の



・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。  
 ・田村弘文議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	會田百合子	中野孝一	緑川久子	先崎勝馬	渡邊直忠	会田明生	吉田康市	宗像芳男	水野正廣	久野峻	竹川里志	
会議 第2回 5月	町長	令和2年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和2年度小野町水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定例会 6月会議	町長	令和2年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		小野町中小企業及び小規模企業振興基本条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町介護保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		郡山市と小野町との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約の締結に関する協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		町有財産の無償貸付について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議員	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。  
 ※個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

# 町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。  
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します。  
「会議録」をご覧ください。(8月下旬掲載予定)

## 会田 明生 議員 ..... 8ページ

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・情報発信・提供に関する課題について
  - ◆ 各種支援策に係る情報収集について
  - ・対策を講じるにあたって最も重視したものは何か
  - ・学校の臨時休業に係る運営上の工夫について
- 2 スクールバスの利用状況について
  - ◆ ・スクールバス利用の対象について

## 渡邊 直忠 議員 ..... 9ページ

- 1 小野町職員人材育成について
  - ・能力本位の任用制度・人事評価について
  - ・人材育成基本方針の策定について
  - ・職員アンケート調査の実施について
  - ・職員が望む業務分担人事制度について
- 2 地方教育行制度の改革について
  - ・大綱の策定について
  - ・総合教育会議について
  - ・小野町総合教育会議の議題提案について
- 3 小野町の雇用対策と経済対策について
  - ・実践型地域雇用創造事業について
  - ・地域雇用活性化推進事業について
  - ・上記2事業の町の取り組み方について
- 4 地域再生計画の策定について
  - ・町が直面する課題と解決策について
  - ・町の地域再生計画づくりに町民の参画方法は
- 5 小野町が取り組むべき地域再生計画策定の提案について
  - ◆ ・提案施策に対する町の回答(考え方)について

## 緑川 久子 議員 ..... 10ページ

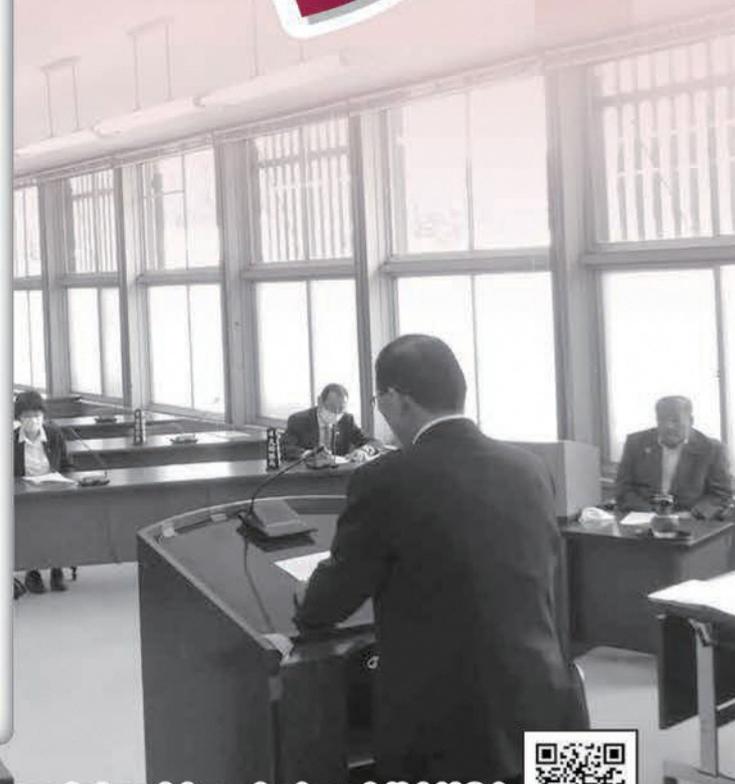
- 1 新型コロナウイルス感染症による商工業の経済対策について
  - ◆ ・国・県・町による経済支援策の対応について
  - ・ヒアリングやアンケートの実態調査による現状把握の実施について
- 2 小学生の通学路にあたる万景歩道橋の補修工事と安全対策について
  - ◆ ・老朽化による補修工事について
  - ・冬期の凍結防止対策について

## 會田 百合子 議員 ..... 11ページ

- 1 中国発・新型コロナウイルス感染症の現状と体制について
  - ・新型コロナウイルス感染症対策の現状について
  - ・新型コロナウイルス感染症対策の体制について
- 2 新型コロナウイルス感染症に係る経済対策について
  - ◆ ・新型コロナウイルス感染症に係る経済対策について
  - ・消費税の減税について
  - ・地方創生臨時交付金の活用方法について
  - ・経済支援等の財源確保について
- 3 新型コロナウイルス感染症に係る家庭や教育への影響について
  - ・学校の休業による影響と対策について
  - ・児童虐待等の対策について
  - ・ひとり親家庭への対応について
- 4 新型コロナウイルス感染症の今後の対応について
  - ◆ ・新型コロナウイルス感染症の今後の体制について
  - ・感染症対策と経済対策の両立について
  - ・今後の経済対策について

## 宗像 芳男 議員 ..... 12ページ

- 1 一般行政について
  - ◆ ・町の危機管理体制について
  - ・複合災害への対応について
- 2 教育行政について
  - ◆ ・認定こども園について
- 3 一般行政について
  - ・統合による施設の活用について



# 問

## 新型コロナウイルス感染症の 各種支援策に係る情報収集方法は

# 答

## アンケートなど様々な方法により 現状の把握に努めている



会田 明生 議員

**問** 町では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う各種支援策として、特別定額給付金やプレミアム付き商品券発行事業補助金等を5月補正予算に計上したところで

必要な対策を講じています。  
町内事業者に対しては、売上げに直接的に影響のある業種をはじめとして、戸別訪問や電話での聞き取り、立地企業等懇談会、商工会の全会員にアンケートを実施するなど、店舗や事業所、業種による様々な現状の把握に努めているところです。

**町長** 小・中学校は学校長を通して、公立の病院や幼児施設、福祉施設は、現場の管理者と情報の共有に努め、

今後も、町民の皆様の声に耳を傾け、関係機関との連携を図りながら、本部会を中心として対応してまいります。

# 問

## スクールバス利用対象要件の 弾力的な運用ができないか

# 答

## 運行の様々な課題については 随時検証・検討したい

**問** 町では、令和2年4月の小野小学校の開校に伴い、特に遠距離の児童の通学支援

として、スクールバスを運行しています。利用の対象は、通学距離が3キロメートル

ルを超える児童とされていますが、登下校時の安全確保の観点から要件を緩和できないか伺います。

**教育長** 新たな運行

基準については、小野町小学校統廃合準備委員会や教育委員会において検討し、決定したもので、利用対象となる通学距離については国が示すおおよその目安である、小学生4キロ以上、中学生6キロ以上より緩和し、小学生3キロ、中学生が4キロ以上としたところであり

ます。  
なお、今年度新たにスクールバスの運行を開始したところであり、様々な課題については、随時検証・検討したいと考えています。



遠距離通学の支援として11路線を運行するスクールバス



渡邊 直忠 議員

## 問

### 雇用と経済対策が同時にできる 2つの事業への町の取り組み方は

## 答

### 関係機関と事業の有効性を協議する

**問** 実践型地域雇用

創造事業は1地域当り各年度2億円、事業年度は3年間実施でき、地域雇用活性化推進事業は、1地域当り各年度4千万円、事業年度は3年間実施できるとあり、雇用と経済対策を同時に行うことができます。農業及び商業・まちづくりと小野IC構想・人口減少問題対策等が予想されます。

**町長** 2つの事業による展開については、

既存の枠組みで検討が進んでいるものがありますので、機会を捉え関係機関と当該事業の有効性を協議します。中堅職員によるプロジェクトチーム整備については、これまで町の総合計画の策定などの重要案件では、業務分野を横断的に検討するため、副課長を中心とするワーキンググループをつくりながら意見交換を行ってまいりましたので、今後も柔軟に体制を整えたいと考えております。



人口対策について検討を行う庁内プロジェクトチームが発足

## 問

### 町が取り組むべき 地域再生計画への提案に対する考えは

## 答

### 社会情勢等の変化を捉え 実施効果が高い事業で計画を作成する

**問** 町がやるべき地域再生計画について、

過疎地域等自立活性化推進交付金を活用した旧雁股田分校改修による首都圏住民の宿泊施設やこまちダム周辺開発の実施、地域再生法の認定制度に基づく特別な措置による創生交付金等の活用を図り、飯豊袖山地内での水力発電による地元電力活用や自然落水による経費のかからない圃場用水活用による農業産業振興等、県内外の事業者と呼びかけ官民協働の事業にするなど、事業化すべきと思う事業を何点か

見解を伺います。

**町長** 地域再生計画

に係る事業について、多数提案いただいたが、公の施設の他用途利用、農工商相互による連携事業、公共交通の体系的取組や道路網の整備など広域的発想を取り込んだものなど多岐にわたるものであり、社会情勢や経済情勢の変化、多様化する個人の価値観や生活様式などの変化も捉えながら、実施効果が高いと考えられる事業を地域再生計画に位置づけ、適時計画を作成したいと考えています。



## 新型コロナウイルス感染症への 経済支援策に対する取り組みは



### 商工会への人員配置など 関係機関と連携を図っている



緑川 久子 議員

**問** 新型コロナウイルス感染症が経済に与える影響は大きく、町内においても飲食業をはじめ小売業やサービス業を含む多くの業種に影響が出ています。

長期にわたる厳しい経営環境を見据えた経済対策は、存続を危惧されている商工業の関係者にとって関心の高い課題です。国や県の動向を注視した町の今後の経済対策、方針を伺います。

**町長** 商工会に国や県の支援事業の照会

や相談が寄せられていることから、職員雇用補助金を交付し6月より配置されています。また、商工会では、必要に応じて別室で相談に応じるなどの対応を取っていると伺っています。

今後も、感染症の終息が見えない状況から、国・県の動向や情報的確な把握に努め、事業所の皆さんの声に耳を傾け、商工会をはじめとする関係機関と連携を図りながら、対策や支援を図りたいと考えています。



### 万景歩道橋の老朽化による 補修工事の進捗状況は



#### 秋口から補修工事の着手を目指している

**問** 万景歩道橋は今年の4月から、小野小学校のスクールバス発着場所である多目的研修集会施設から学校までの通学路となっています。

設置から43年経過しており、老朽化のため所々補修が施されている現状ですが、子供たちの更なる安全性を確保するためにも、全体的な補修工事が望まれます。県による現在の工事計画の進捗状況を伺います。

**町長** 県管理の万景歩道橋については、老朽化も著しい状況から町では修繕及び詳

細な調査・点検を要望しており、応急的な修繕は、その都度対応していただいているところであり、本年度、県において全面補修工

事を行うための実施設計書を取りまとめている段階であります。

進捗状況としては、秋口からの補修工事の着手を目指しており、町からも、修繕工事が早期に完成できるよう、引き続き県と協議を重ねてまいります。



補修工事が行われる予定の万景歩道橋



會田 百合子 議員

# 問

## 新型コロナウイルス感染症の 経済対策として消費税の減税は

# 答

## 減税による地方財政への影響も 不透明であるため難しい

**問** 現在行われている給付金や融資の拡充、休業補償などによる中小企業等への資金繰り対策や支援などの経済対策では大変深刻な状態になってくると思われます。消費喚起と経済支援のため、国に対し消費税の減税を求めますが、町長の見解はいかがでしょうか。

**町長** 消費喚起と経済支援のため、国に対し消費税の減税を求め、消費税の減税措置は、消費税の減税措

消費税減税による地方財政への影響も不透明であり、現時点では、国に対し消費税の減税を求めることは難しいと考えておりますので、ご理解願います。

置が講じられれば、消費喚起を促すとともに地域経済の回復の一助となることが期待されますが、消費税及び地方消費税は、国から市町村等に交付されます地方交付税や地方消費税交付金のほか、社会保障等の財源の一部にもなっております。

# 問

## 新型コロナウイルス感染症による 学校休業による影響と対策は

# 答

## 影響は見られたが 教育課程を工夫し対応する

**問** 本町の学校休業や外出自粛による学力低下やストレスなどが心配されます。子供たちの学習や体力、スマホ依存等への影響とその対策、学校が再開されてからの子供たちの様子はいかがでしょうか。

好きな登校状況であり、望ましい人間関係の中で学校生活を送っています。心身のケアに関するアンケート調査の分析、個別教育相談の実施やスクールカウンセラーなどの効果的な活用を図り、望

ましい学習や生活習慣を形成し、今後の教育課程を改善・工夫しながら、定められた学習内容が確実に実施できるよう対応してまいります。  
なお、体力面につきましても「新しい生活様式」に配慮しながら、教育活動を工夫し、児童・生徒の負担過重とならない体力作りを推進してまいります。

# 教育長

学校再開直後は、学習への集中力の低下や学校生活へ不安を持つ児童・生徒が数名見られ、中には、スマートフォンやゲーム依存の傾向がある生徒も見られました。

現在は小・中学校ともに欠席も少なく、良



液体粘土で絵を描く小野小学校1年生の子供たち

# 問

## 町の危機管理体制は

# 答

## 大規模災害や感染症の発生に備え 備蓄品を適切に管理する



宗像 芳男 議員

**問** 今春からの新型コロナウイルス感染症により、国民の平穏な日々の暮らしが脅かされています。緊急事態宣言は解除されませんが、未だに正常な生活には程遠い現状です。

第2波、第3波のコロナ禍が来るのではないかと疑心暗鬼の状態ですが、町としてマスクを始めとして医療物資や食料等の備蓄が必要ではないかと思えますが、町長の考えを伺います。

**町長** 町の新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、現在、消毒液、手洗い用品、マスク、防護服、体温計などの衛生資材を備蓄しており、町内において感染者が発生した場合を想定し、家族間の感染を防ぐためのマスクや消毒液などの配付や自宅待機に備える食料の提供等を準備しています。

町では、災害時における要援護者向けとしまして、一定程度の備蓄品を確保しておりますが、今後の大規模な災害や感染症発生に備え、各家庭での食料品の備蓄を呼びかけるとともに、感染症拡大の状況を見据えながら、町の備蓄品の内容や量を適切に補給、管理してまいります。

**問** 運営される民間事業者がいかなる認定こども園を建設し、運営されるのか、そのイメージ像、姿を想像できません。事業者から未だに認定こども園に対する情熱や思いが伝わって来ません。

議会と事業者との協議の場を設けるべきだと思えますが、町長の考えを伺います。

**町長** 幼児教育・保育を一元的に提供できる施設として、令和4年4月の開園に向け「公私連携幼保連携型認定こども園」の整備を進めているところで



今後園舎等の整備が行われる認定こども園敷地

# 答

## 要請があれば事業者からの 説明の機会を設ける

# 問

## 設置運営事業者の抱く 認定こども園のイメージ像は

**問** 運営される民間事業者がいかなる認定こども園を建設し、運営されるのか、そのイメージ像、姿を想像できません。事業者から未だに認定こども園に対する情熱や思いが伝わって来ません。

は、事業者からも承諾を得ているところであります。

議会より要請があれば、事業者に対して説明を求めて参りたいと考えています。

# 追跡

## どうなった？ あの一般質問を検証！

過去の一般質問から「検討したい」という答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応を検証します。

### 地域再生のための各事業への町の基本姿勢について

#### 質問

今後、まちづくりを進めていくため、また、未来を見据えた事業を行うため、担当部署が必要ではないですか。

(令和元年定例会6月会議)

#### 答弁

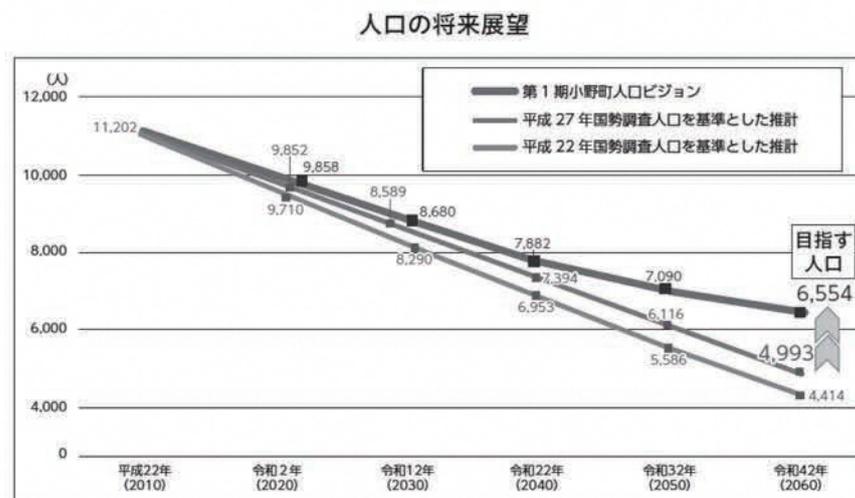
検討します。



#### その後

町では、未来を見据え、持続可能な町を目指すため、今年度から人口対策に特化した施策・事業を推し進める総合調整役となる担当を企画政策課に配置しました。

担当においては、令和2年度を初年度とする「小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」2020改訂版に基づく対策の推進体制の強化と施策の推進を図ると共に、災害や新型コロナウイルス感染症等を受け社会の在り方や価値観の変化を捉えながら、人口減少の抑制と持続可能なまちづくりを進めて参ります。



▲人口対策を進め人口減少の抑制と持続可能なまちづくりを目指す

# 議会活動トピックス

## 村上前議長に自治功労者表彰を伝達(6月17日)

福島県町村議会議長会会長並びに田村地方町村議会議長会会長より、村上昭正前議長が自治功労者表彰を受け、6月17日役場議長室において表彰状の伝達が行われました。

この表彰は、町村議会議長として(県が6年以上、田村地方が5年以上)在職し、地方自治の振興発展に寄与された功績が認められた方に授与されます。

表彰は新型コロナウイルス感染症の影響により、田村弘文議長からの伝達となりました。

村上前議長の長年のご労苦に心より感謝申し上げますとともに、今後のご活躍をご期待いたします。



表彰の伝達を受けた村上前議長(中央)

## 議会基本条例についての視察に来町(7月16日)

石川町議会の議会基本条例特別委員会の皆さんが、令和元年9月に制定した「小野町議会基本条例」に関して視察に訪れ、意見交換を行いました。

議会基本条例を制定する際に吉田利宏先生からはどのタイミングでアドバイスをいただいたのか、ですます調で制定した理由などについて質疑が行われました。



議会基本条例についての意見を交換

# 議会活動日誌

5月

- 7日 新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 12日 議会運営委員会  
全員協議会  
小野町議会5月第1回会議  
月例全員協議会
- 18日 議会運営委員会  
新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 20日 田村広域行政組合議会臨時会(三春町)
- 25日 例月出納検査
- 28日 議会運営委員会  
全員協議会  
小野町議会5月第2回会議  
全員協議会

6月

- 1日 新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 5日 議会運営委員会  
全員協議会
- 10日～15日 小野町議会定例会6月会議
- 15日 月例全員協議会  
議会広報編集委員会
- 17日 福島県町村議会議長会・田村地方町村議会議長会表彰伝達式
- 19日 公私連携幼保連携型認定こども園設置及び運営に関する協定調印式
- 25日 例月出納検査

7月

- 1日 新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 2日 公立小野町地方総合病院企業団議会
- 6日 小町ふれあいフェスタ実行委員会
- 8日 交通死亡事故ゼロ1000日達成表彰伝達式
- 9日 郡山地方広域消防組合議会(郡山市)
- 10日 月例全員協議会  
議会運営委員会
- 16日 石川町議会 議会基本条例特別委員会視察来庁
- 20日 小野町農業委員辞令交付式
- 28日 例月出納検査
- 28日～30日 決算審査(現地調査)
- 31日 議会運営委員会  
全員協議会  
小野町議会7月第1回会議

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

議会からの **お知らせ**

定例会9月会議は

9月3日(木)から開会します。

一般質問は9月4日(金)の予定です。傍聴をお待ちしています。

- 新型コロナウイルス感染症対策として議場の傍聴席の間隔を広げるため、座席数に限りがありますので、ご理解とご協力をお願いします。
  - 傍聴席が満席の場合は、会議室でのテレビ視聴となる場合があります。
- ※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

令和2年  
8月12日発行  
**163号**

発行者／福島県小野町議会  
編集／議会広報編集委員会  
〒963-3492  
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻2  
☎0247-72-6930

スマートフォンアプリ  
**マチイロ**  
で配信を  
開始しました!

より多くの皆さんに「おのまち議会だより」をお届けできるよう、スマートフォン用無料広報誌アプリ「マチイロ」で配信を開始しました。ぜひご覧ください。

QRコードからアクセスしてください



マチイロ  
マチを好きになるアプリ

**表紙の写真**

7月17日から22日までの6日間、福島市出身の作曲家古関裕而さんをモデルにしたNHK連続テレビ小説「エール」の巡回展が、小野町ふるさと文化の館で開催されました。巡回展の開催に合わせて、ふるさと文化の館内の「丘灯至夫記念館」では、小野町出身の作詞家丘灯至夫さんと古関さんが一緒に作った楽曲を重点的に取り上げた展示を行っています。

丘灯至夫記念館の展示は現在も行っていますので、ぜひ足を運んでみてください。

**小野町議会**

【小野町議会広報編集委員会】

委員長	田村 弘文
副委員長	竹川 里志
委員	宗像 芳男
委員	会田 明生
委員	先崎 勝馬
委員	緑川 久子
委員	中野 孝一
委員	會田 百合子

**• あとがき •**

早稲田大学マニフェスト研究会が、今年6月に議会改革度調査結果をランキング形式で公開しました。

調査評価の視点は「情報共有」「住民参画」「機能強化」の3つです。

小野町議会は、通年議会の導入、夜間議会、意見交換会や懇談会、さらに昨年は議会基本条例も制定し、客観的な評価も気になるところですが…上位に名前はありませんでした。

改革の歩みを止めず、より一層開かれた議会を目指し、広報・広聴の充実に努めます。

小野町議会広報編集委員会 委員  
会田 明生



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。

小野町議会  検索  小野町議会のホームページもご覧ください